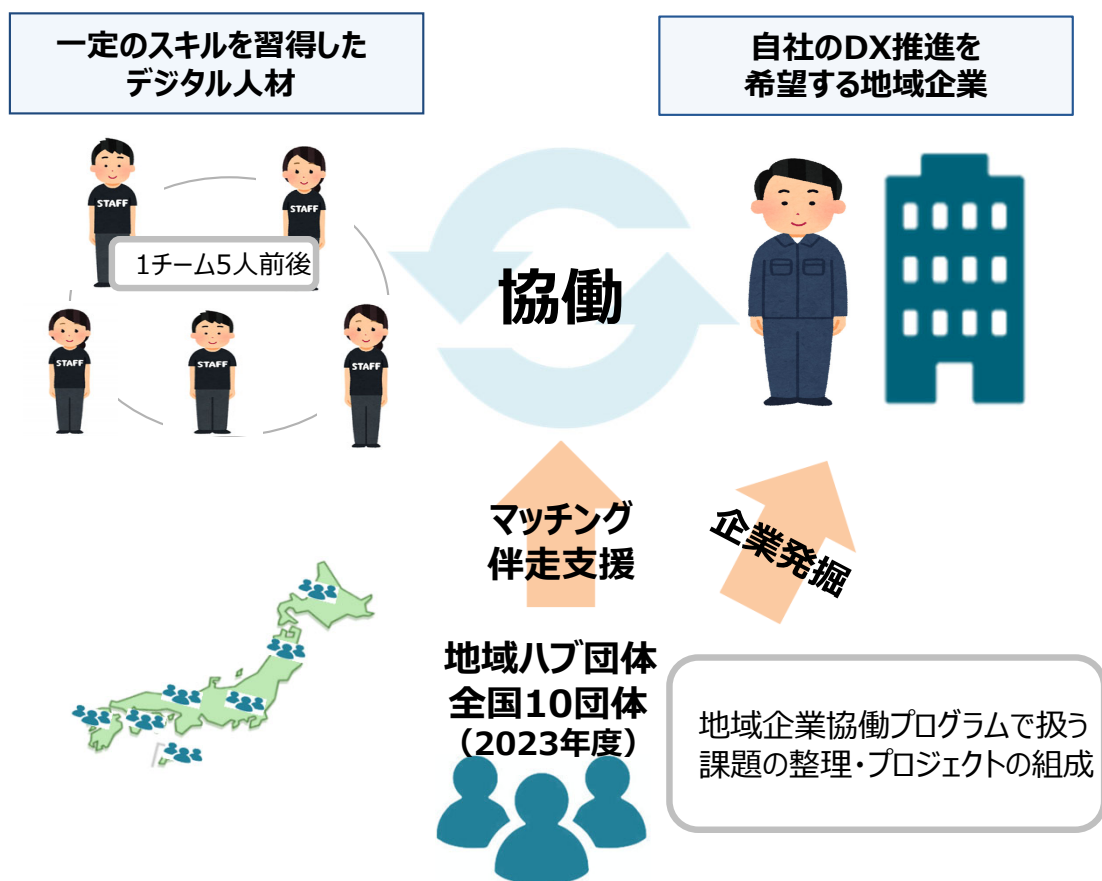


- DX推進に課題を有する実際の地域企業等の参加を得て、受講生がチームとなって**企業と協働し、企業のビジネス課題設定から解決のためのデジタル技術実装の提案等**に取り組むプログラム。
- 受講生は、プロジェクト設計やデジタル技術の導入能力のみならず、**協働企業社員との交渉や経営陣への提案等の経験を通じて、AI活用を含むより実践的なDX推進能力を身に付けることが可能。**



(参考) 課題解決プロジェクトイメージ

	取組内容の概要	成果
事例① 小売業 での 需要予測	スーパーマーケット運営事業者が、過去の売上データや気温等のデータも用い、特定の食料品の売上金額を予測	従来、各店舗ごとに 人力で実施していた需要予測作業を本部のAIに集約することによる工数削減 を実現。
事例② 製造業 での 需要予測	部品製造事業者が、取引先から受ける内示(数カ月後の発注数の概算通知)について、 過去データから内示のズレを予測し、将来の受注量を精緻に予測	対象とした製品の多くで、需要予測の精度が向上。 AIによる予測と実際の発注数の誤差が、内示と実際の発注数の誤差の半分以下となったケースも存在

(補足) デジタル人材育成プラットフォーム

- デジタル田園都市国家構想の実現に向け、**地域企業のDXを推進するデジタル人材を育成するプラットフォームを構築**し、企業内人材（特にユーザー企業）や個人のリスキリングを推進。
- 民間企業等が提供する**教育コンテンツ・講座を一元的に集約・提示するポータルサイト「マナビDX（デラックス）」の整備**に加えて、**ケーススタディ教育プログラム**や**地域企業協働プログラム**を提供し、DXを推進する実践人材を育成。

